

融雪計画平面図

S=1:500

1年目工事

【注記】  
1年目工事で施工する範囲は、各設備の引出線および融雪範囲を赤色で示す。

かみのやま温泉駅東エリア融雪施設 融雪範囲  
A=2425.9m<sup>2</sup>

かみのやま温泉駅東エリア融雪施設 南側工区融雪範囲  
A=1170.1m<sup>2</sup> W=2.0m

南側工区融雪用操作盤 15kW用

電線管ハンドホール

南側工区揚水井  
掘さく口径 φ450×深度 100m  
ケーシング口径 FRPφ250

深井戸水中モータポンプ φ80mm×15kW

北側工区揚水井  
掘さく口径 φ450  
ケーシング口径 FRPφ250

深井戸水中モータポンプ φ80mm×15kW

北側工区融雪用操作盤 15kW用  
※基礎のみ

南側工区注入井  
掘さく口径 φ450  
ケーシング口径 FRPφ250  
注入設備 80A

北側工区注入井  
掘さく口径 φ450  
ケーシング口径 FRPφ250  
注入設備 80A

かみのやま温泉駅東エリア融雪施設 北側工区融雪範囲  
A=1255.8m<sup>2</sup> W=2.0~3.0m

凡 例

融雪範囲 : 1年目工事融雪範囲  
融雪範囲 : その他年度融雪範囲

南側工区 放熱管セット面積表

No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]
南-1	11.5	南-11	20.0	南-21	17.6	南-31	20.0	南-41	18.9	南-51	19.6	南-61	16.1
南-2	18.3	南-12	20.0	南-22	16.7	南-32	20.0	南-42	16.8	南-52	20.0	南-62	16.1
南-3	18.5	南-13	20.0	南-23	17.5	南-33	20.0	南-43	18.5	南-53	20.0	南-63	15.8
南-4	16.0	南-14	20.0	南-24	16.8	南-34	20.0	南-44	10.9	南-54	20.0		
南-5	16.0	南-15	20.0	南-25	20.0	南-35	20.0	南-45	19.4	南-55	20.0		
南-6	16.0	南-16	20.0	南-26	16.1	南-36	20.0	南-46	14.8	南-56	20.0		
南-7	16.0	南-17	20.0	南-27	16.0	南-37	20.0	南-47	20.0	南-57	20.0		
南-8	20.0	南-18	20.0	南-28	19.3	南-38	20.0	南-48	20.0	南-58	20.0		
南-9	20.0	南-19	20.0	南-29	20.0	南-39	20.0	南-49	18.0	南-59	20.0		
南-10	19.9	南-20	16.7	南-30	20.0	南-40	20.0	南-50	16.3	南-60	20.0		
小計	172.2	小計	196.7	小計	180.0	小計	200.0	小計	173.6	小計	199.6	小計	48.0
合計面積 1170.1[m <sup>2</sup> ]													

北側工区 放熱管セット面積表

北側道路沿線		南側		西側		東側		北側道路沿線		南側		西側		東側	
No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]	No.	面積[m <sup>2</sup> ]
北-1	12.0	北-11	20.0	北-21	10.8	北-31	12.8	北-41	19.9	北-51	19.8	北-61	14.5	北-71	19.5
北-2	12.0	北-12	20.0	北-22	12.9	北-32	15.7	北-42	20.0	北-52	20.0	北-62	13.1	北-72	19.5
北-3	10.3	北-13	20.0	北-23	16.7	北-33	15.7	北-43	20.0	北-53	20.0	北-63	18.8	北-73	13.5
北-4	19.9	北-14	20.0	北-24	16.0	北-34	16.7	北-44	20.0	北-54	20.0	北-64	19.6		
北-5	20.0	北-15	19.5	北-25	16.0	北-35	14.6	北-45	20.0	北-55	20.0	北-65	19.6		
北-6	16.0	北-16	19.3	北-26	16.0	北-36	13.3	北-46	20.0	北-56	18.3	北-66	19.4		
北-7	16.8	北-17	18.5	北-27	16.0	北-37	9.1	北-47	20.0	北-57	19.9	北-67	16.9		
北-8	13.0	北-18	11.9	北-28	16.0	北-38	9.1	北-48	19.8	北-58	20.0	北-68	19.6		
北-9	17.7	北-19	12.7	北-29	15.5	北-39	19.9	北-49	19.8	北-59	20.0	北-69	13.5		
北-10	20.0	北-20	17.9	北-30	11.3	北-40	19.9	北-50	20.0	北-60	19.9	北-70	19.5		
小計	157.7	小計	179.8	小計	147.2	小計	146.7	小計	199.5	小計	197.9	小計	174.5	小計	52.5
													合計面積 1255.8[m <sup>2</sup> ]		
													1年目工事合計面積 385.2[m <sup>2</sup> ]		

令和	年度	図番	4 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
融雪計画平面図			
縮尺	1:500	上山市	

【注記】  
1年目工事においては、北側工区揚水井ビット内の揚水機械設備の据付を行わない。

水源構造図  
北側工区

A1 : S=1/20  
A3 : S=1/40

井戸構造図

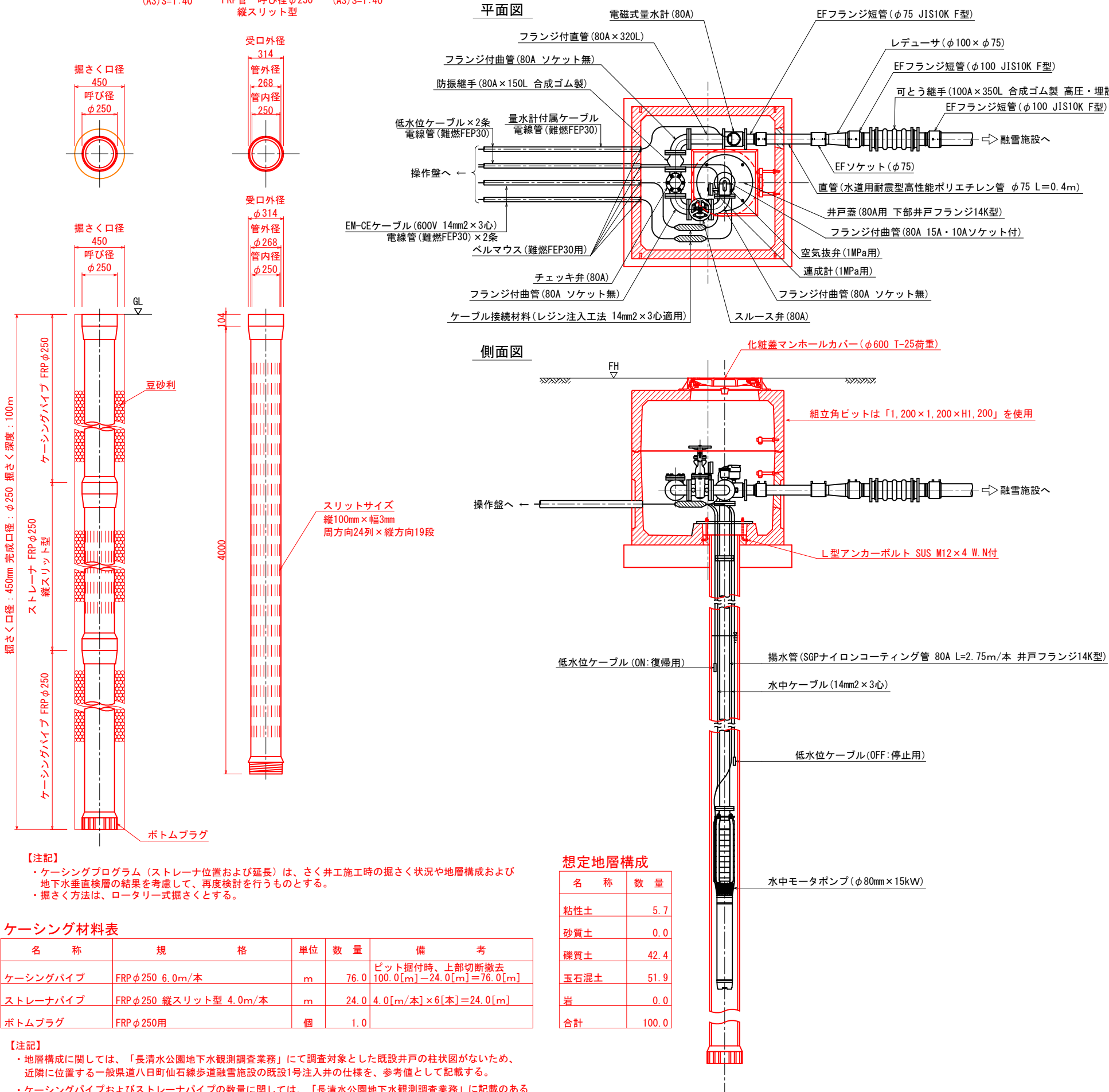
(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40

ストレーナ詳細図

FRP管 呼び径φ250  
縦スリット型

(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40

揚水機械設備図



揚水機械設備工 数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
(材料)				
水中モータポンプ	φ80mm×15kW	台	1.0	
水中ケーブル	14mm2×3心	m	88.0	44.0[m/条]×2[条]=88.0[m]
揚水管	SGP ナイロンコーティング 80A 2.75m/本 井戸フランジ14K型	本	16.0	2.75[m/本]×16[本]=44.0[m]
井戸蓋	ナイロンコーティング 80A用 下部井戸フランジ14K型	個	1.0	
スルース弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
チェック弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
電磁式量水計	80A 受信機・付属ケーブル10m付	組	1.0	
空気抜弁	1.0MPa用	個	1.0	
連成計	1.0MPa用	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A 15A・10Aソケット付	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A ソケット無	個	3.0	
フランジ付直管	ナイロンコーティング 80A×320L	個	1.0	
防振継手	80A×150L 合成ゴム製	個	1.0	
可とう継手	100A×350L 樹脂管対応 合成ゴム製 高圧・埋設用	個	1.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ100 JIS10K F型	個	2.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ75 JIS10K F型	個	1.0	
EFソケット	PWA規格 φ75 水道用耐震型高性能ポリエチレン管	個	1.0	
直管	PWA規格 φ75 L=0.4m	本	1.0	
レデューサ	PWA規格 φ100×φ75	個	1.0	
EM-CEケーブル	600V 14mm2×3心	m	3.8	ビット～操作盤 1.9[m/条]×2[条]=3.8[m]
ケーブル接続材料	レジン注入工法 14mm2×3心適用	組	2.0	
低水位ケーブル	停止用 MA電極付 L=50m	本	1.0	[注記]
低水位ケーブル	復帰用 MA電極付 L=30m	本	1.0	[注記]
電線管	難燃FEP30	m	7.6	ビット～操作盤 1.9[m/条]×4[条]=7.6[m]
ベルマウス	難燃FEP30用	個	4.0	
(配管工)				
継手工	融着継手 呼び径100mm 1口継手	箇所	2.0	
継手工	融着継手 呼び径75mm 2口継手	箇所	1.0	
継手工	融着継手 呼び径75mm 1口継手	箇所	1.0	
(据付工)				
揚水機械設備据付工		箇所	1.0	
地中管内配線	量水計専用及び低水位ケーブル (仕上外径10mm以下)	m	5.7	ビット～操作盤 1.9[m/条]×3[条]=5.7[m]
地中管内配線	EM-CEケーブル 14mm2×3心 (仕上外径20mm以下)	m	3.8	ビット～操作盤 1.9[m/条]×2[条]=3.8[m]
波付硬質合成樹脂管敷設	難燃FEP30×4条 (構内地中 50mm以下)	m	1.9	ビット～操作盤 1.9[m]

【注記】  
・揚水管長と低水位ケーブル長の選定にあたっては、揚水試験結果に応じて検討すること。  
また、各電極は以下の位置を目安として設置すること。  
停止用電極位置＝揚水水位 (P. L) + 渴水期水位低下  
復帰用電極位置＝自然水位 (N. L) + 渴水期水位低下+2m

周辺の既設井戸データから計算した揚水管長は以下の通り。  
揚水管長＝揚水水位 (P. L) + 渴水期水位低下+2m  
＝40.0 (見込値) +2.0  
＝42.0[m] →揚水管長は2.75[m/本]×16[本]=44.0[m]とする。

また、同様に周辺の既設井戸データから選定した各低水位ケーブル延長は以下の通り。  
停止用＝40.0 (井戸内) +1.0 (ビット内) +1.9 (ビット～操作盤) +1.0 (盤内立上り)  
＝43.9[m] →50m用  
復帰用＝24.0 (井戸内) +1.0 (ビット内) +1.9 (ビット～操作盤) +1.0 (盤内立上り)  
＝27.9[m] →30m用

ケーシング材料表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ケーシングパイプ	FRP φ250 6.0m/本	m	76.0	ビット据付時、上部切断撤去 100.0[m]－24.0[m]=76.0[m]
ストレーナパイプ	FRP φ250 縦スリット型 4.0m/本	m	24.0	4.0[m/本]×6[本]=24.0[m]
ボトムプラグ	FRP φ250用	個	1.0	

【注記】  
・地層構成に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」にて調査対象とした既設井戸の柱状図がないため、近隣に位置する一般県道八日町仙石線歩道融雪施設の既設1号注入井の仕様を、参考値として記載する。  
・ケーシングパイプおよびストレーナパイプの数量に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」に記載のある既設井戸のケーシングプログラムを参考にした。

想定地層構成

名 称	数 量
粘性土	5.7
砂質土	0.0
礫質土	42.4
玉石混土	51.9
岩	0.0
合計	100.0

令和	年度	図番	15 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
水源構造図 北側工区			
縮尺	1:20	上山市	

水源構造図  
南側工区

A1 : S=1/20  
A3 : S=1/40

【注記】  
1年目工事においては、南側工区揚水井ビット内の揚水機械設備の据付を行わない。

井戸構造図

(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40

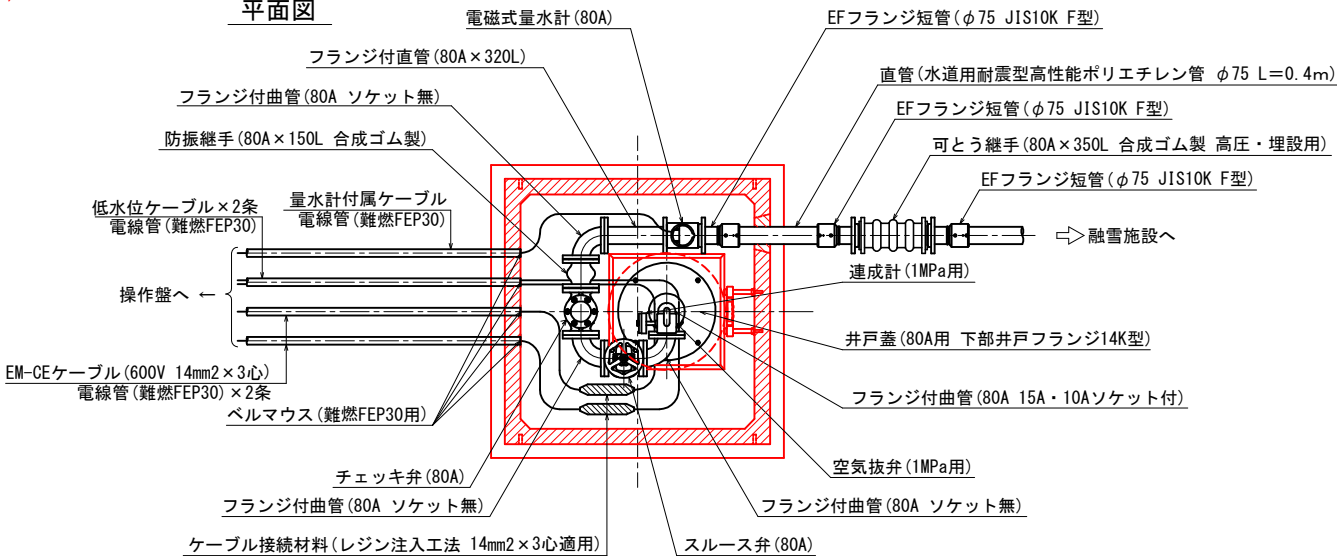
ストレーナ詳細図

FRP管 呼び径φ250  
縦スリット型

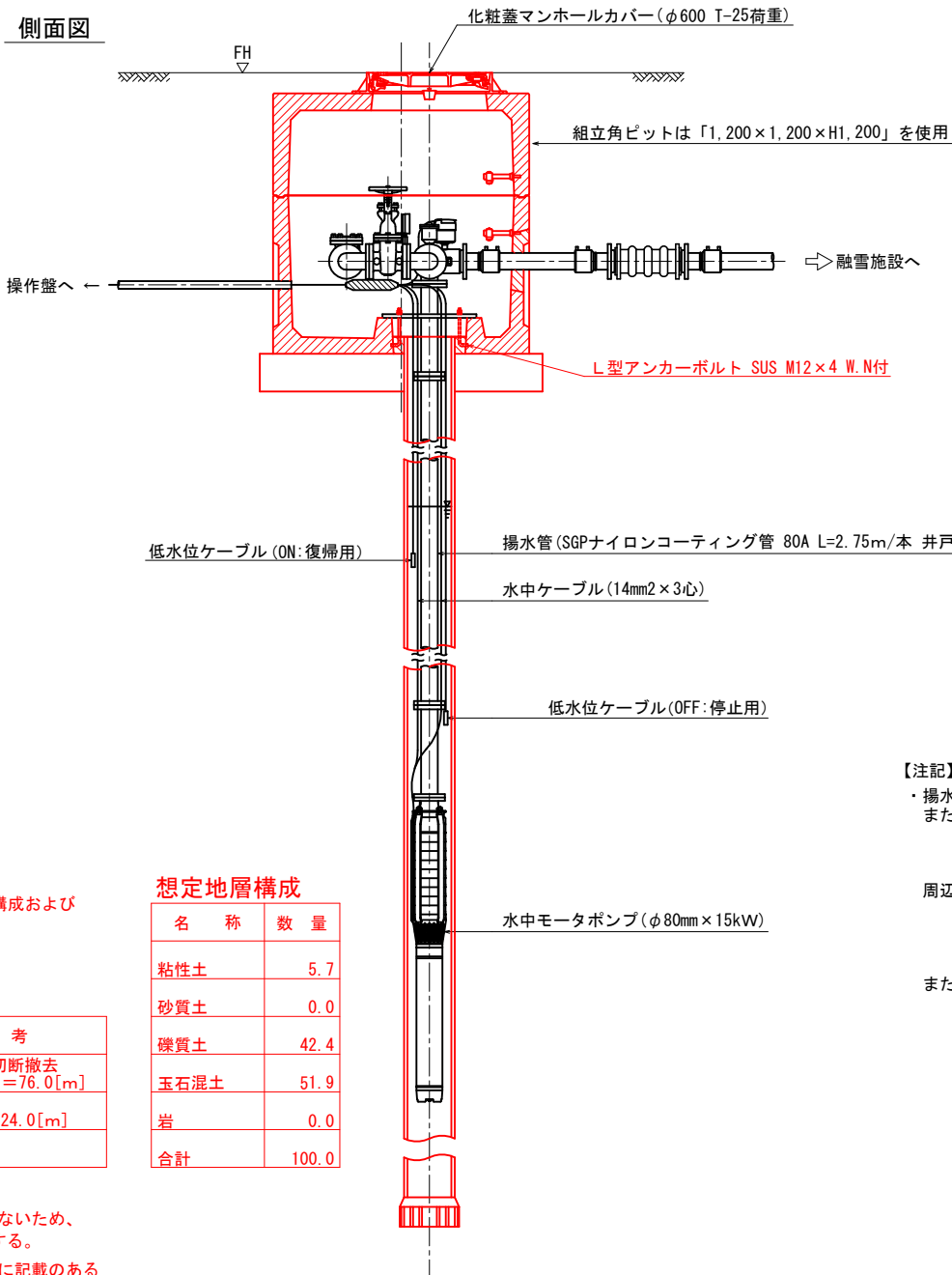
(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40

揚水機械設備図

平面図



側面図

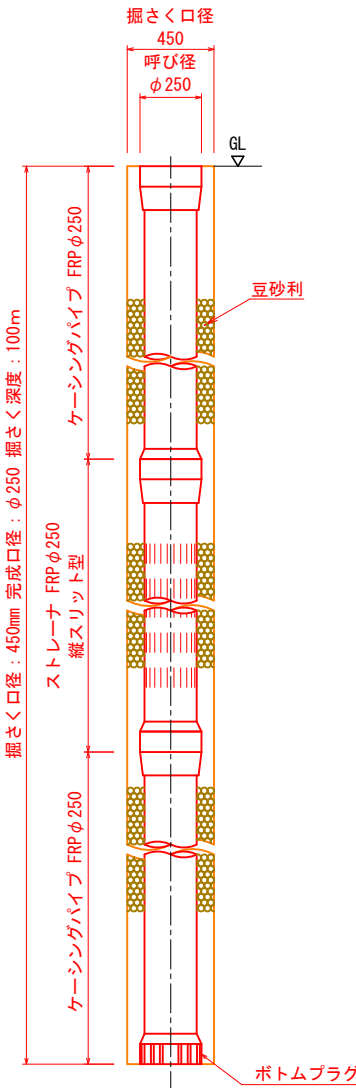


揚水機械設備工 数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
(材料)				
水中モータポンプ	φ80mm×15kW	台	1.0	
水中ケーブル	14mm2×3心	m	88.0	44.0[m/条]×2[条]=88.0[m]
揚水管	SGP ナイロンコーティング 80A 2.75m/本 井戸フランジ14K型	本	16.0	2.75[m/本]×16[本]=44.0[m]
井戸蓋	ナイロンコーティング 80A用 下部井戸フランジ14K型	個	1.0	
スルース弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
チェッキ弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
電磁式量水計	80A 受信機・付属ケーブル10m付	組	1.0	
空気抜弁	1.0MPa用	個	1.0	
連成計	1.0MPa用	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A 15A・10Aソケット付	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A ソケット無	個	3.0	
フランジ付直管	ナイロンコーティング 80A×320L	個	1.0	
防振継手	80A×150L 合成ゴム製 80A×350L 樹脂管対応 合成ゴム製 高圧・埋設用	個	1.0	
可とう継手	合成ゴム製 高圧・埋設用	個	1.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ75 JIS10K F型	個	3.0	
直管	水道用耐震型高性能ポリエチレン管 PWA規格 φ75 L=0.4m	本	1.0	
EM-CEケーブル	600V 14mm2×3心	m	45.8	ビット～操作盤 22.9[m/条]×2[条]=45.8[m]
ケーブル接続材料	レジン注入工法 14mm2×3心適用	組	2.0	
低水位ケーブル	停止用 MA電極付 L=70m	本	1.0	【注記】
低水位ケーブル	復帰用 MA電極付 L=50m	本	1.0	【注記】
電線管	難燃FEP30	m	91.6	ビット～操作盤 22.9[m/条]×4[条]=91.6[m]
ベルマウス	難燃FEP30用	個	4.0	
(配管工)				
継手工	融着継手 呼び径75mm 1口継手	箇所	3.0	
(据付工)				
揚水機械設備据付工		箇所	1.0	
地中管内配線	量水計専用及び低水位ケーブル (仕上外径10mm以下)	m	68.7	ビット～操作盤 22.9[m/条]×3[条]=68.7[m]
地中管内配線	EM-CEケーブル 14mm2×3心 (仕上外径20mm以下)	m	45.8	ビット～操作盤 22.9[m/条]×2[条]=45.8[m]
波付硬質合成樹脂管敷設	難燃FEP30×4条 (構内地中 50mm以下)	m	22.9	ビット～操作盤 22.9[m]

【注記】  
・揚水管長と低水位ケーブル長の選定にあたっては、揚水試験結果に応じて検討すること。  
また、各電極は以下の位置を目安として設置すること。  
停止用電極位置＝揚水水位 (P. L) + 濁水期水位低下  
復帰用電極位置＝自然水位 (N. L) + 濁水期水位低下+2m  
周辺の既設井戸データから計算した揚水管長は以下の通り。  
揚水管長＝揚水水位 (P. L) + 濁水期水位低下+2m  
＝40.0 (見込値) + 2.0  
＝42.0[m] →揚水管長は2.75[m/本]×16[本]=44.0[m]とする。

また、同様に周辺の既設井戸データから選定した各低水位ケーブル延長は以下の通り。  
停止用＝40.0 (井戸内) + 1.0 (ビット内) + 22.9 (ビット～操作盤) + 1.0 (盤内立上り)  
＝64.8[m] →70m用  
復帰用＝24.0 (井戸内) + 1.0 (ビット内) + 22.9 (ビット～操作盤) + 1.0 (盤内立上り)  
＝48.9[m] →50m用



【注記】  
・ケーシングプログラム（ストレーナ位置および延長）は、さく井施工時の掘さく状況や地層構成および地下水垂直検層の結果を考慮して、再度検討を行うものとする。  
・掘さく方法は、ロータリー式掘さくとする。

ケーシング材料表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
ケーシングパイプ	FRP φ250 6.0m/本	m	76.0	ビット据付時、上部切断撤去 100.0[m]－24.0[m]＝76.0[m]
ストレーナパイプ	FRP φ250 縦スリット型 4.0m/本	m	24.0	4.0[m/本]×6[本]＝24.0[m]
ボトムプラグ	FRP φ250用	個	1.0	

【注記】  
・地層構成に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」にて調査対象とした既設井戸の柱状図がないため、近隣に位置する一般県道八日町仙石線歩道融雪施設の既設1号注入井の仕様を、参考値として記載する。  
・ケーシングパイプおよびストレーナパイプの数量に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」に記載のある既設井戸のケーシングプログラムを参考にした。

想定地層構成

名 称	数 量
粘性土	5.7
砂質土	0.0
礫質土	42.4
玉石混土	51.9
岩	0.0
合計	100.0

令和	年度	図番	16 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
水源構造図 南側工区			
縮尺	1:20	上山市	



北側工区

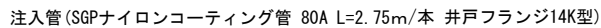
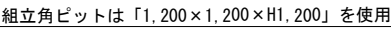
A3 :  $S=1/40$

(A1)  $S=1:20$   
(A3)  $S=1:40$

(A1)  $S=1:20$   
(A3)  $S=1:40$

FRP管 呼び径φ250  
縦スリット型

## 注入設備図



【注記】

- ・ケーシングプログラム（ストレーナ位置および延長）は、さく井工施工時の掘さく状況や地層構成および地下水垂直検層の結果を考慮して、再度検討を行うものとする。
- ・掘さく方法は、ロータリー式掘さくとする。

【注記】

- 地層構成に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」にて調査対象とした既設井戸の柱状図がないため、近隣に位置する一般県道八日町仙石緑歩道融雪施設の既設1号注入井の仕様を、参考値として記載する。
- ・ケーシングパイプおよびストレーナパイプの数量に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」に記載のある既設井戸のケーシングプログラムを参考にした。

合計	100.0
----	-------

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
(材料)				
注入管	ナイロンコーティング SGP80A 2.75m/本 井戸フランジ14K型	本	9.0	2.75[m/本]×9[本]=24.75[m]
井戸蓋	ナイロンコーティング 80A用 下部井戸フランジ14K型	個	1.0	
スルース弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
圧力計	1.0MPa用	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A 15A・10Aソケット付	個	1.0	
フランジ付直管	ナイロンコーティング 80A×320L	個	1.0	
プラグ	白 15A	個	1.0	
可とう継手	100A×350L 合成ゴム製 高圧・埋設用	個	1.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ100 JIS10K F型	個	2.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ75 JIS10K F型	個	1.0	
EFソケット	PWA規格 φ75	個	1.0	
直管	水道用耐震型高性能ポリエチレン管 PWA規格 φ75 L=0.5m	本	1.0	
レデューサ	PWA規格 φ100×φ75	個	1.0	
(配管工)				
継手工	融着継手 呼び径100mm 1口継手	箇所	2.0	
継手工	融着継手 呼び径75mm 2口継手	箇所	1.0	
継手工	融着継手 呼び径75mm 1口継手	箇所	1.0	
(据付工)				
注入設備据付工	注入管・配管材料 80A	組	1.0	

【注記】

- ・ 注入管長の選定にあたっては、揚水試験結果に応じて検討すること。  
周辺の既設井戸データから計算した注入管長は以下の通り。  
注入管長＝自然水位 (P.L)＋満水期の水位低下 (見込値)＋2m  
＝2.0+20.0 (見込値)＋2.0  
＝24.0[m] ー 揚水管長は2.75[m/本]×9[本]＝24.75[m]とする。

令和	年度	図番	17 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
<p style="text-align: center;">注入設備工図 北側工区</p>			
縮尺	1:20	上山市	

注入設備工図

南側工区

A1 : S=1/20

A3 : S=1/40

【注記】

1年目工事においては、南側工区注入井ビット内の注入設備の据付を行わない。

井戸構造図

(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40

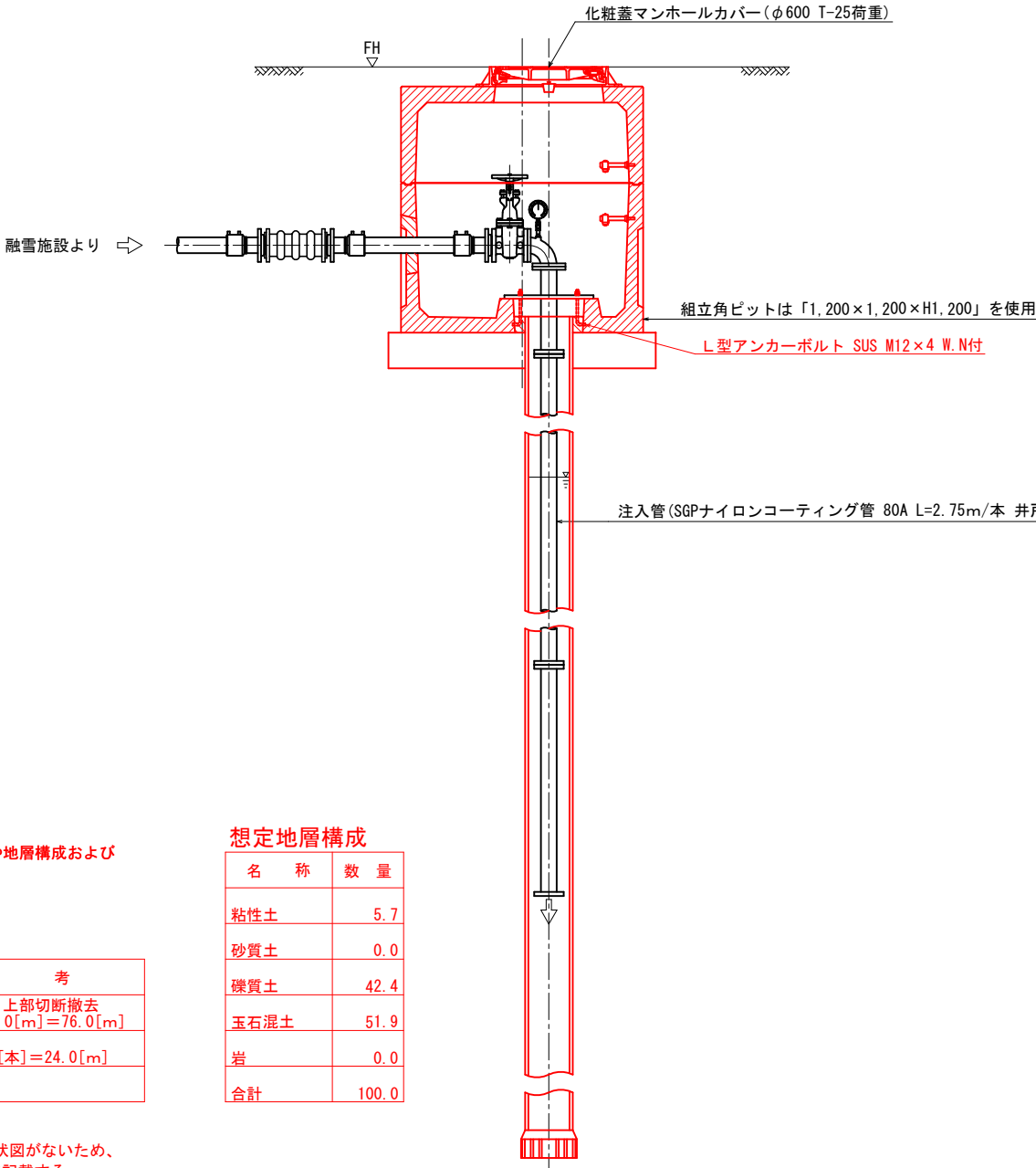
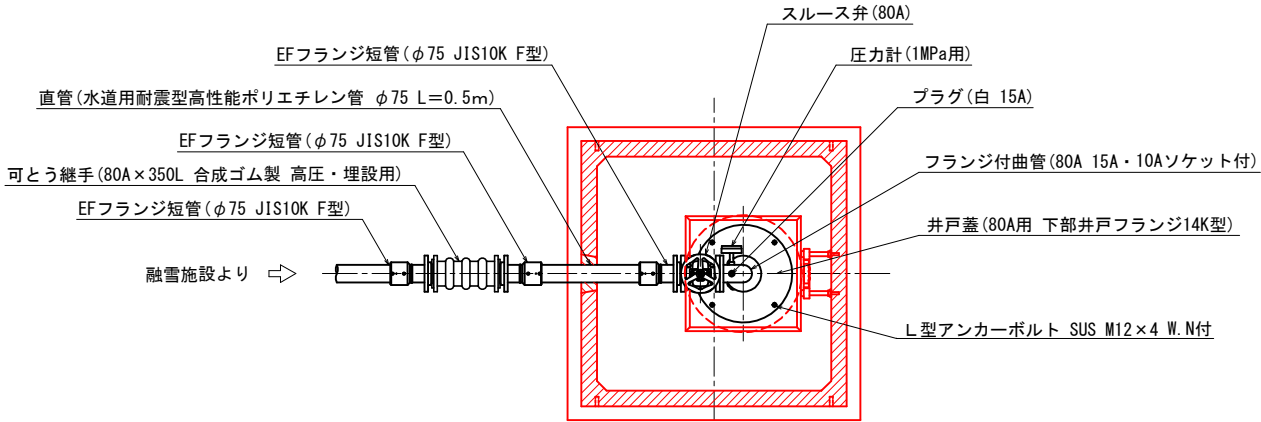
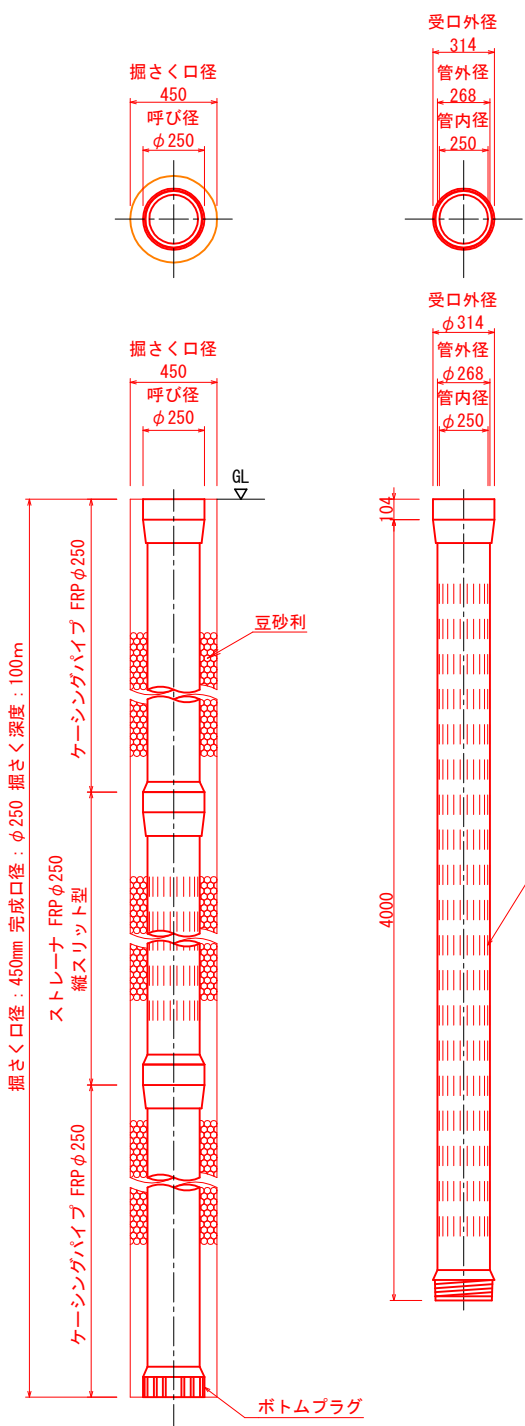
ストレーナ詳細図

(A1) S=1:20  
(A3) S=1:40  
FRP管 呼び径φ250  
縦スリット型

注入設備図

平面図

側面図



注入設備工 数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
(材料)				
注入管	ナイロンコーティング SGP80A 2.75m/本 井戸フランジ14K型	本	9.0	2.75[m/本]×9[本]=24.75[m]
井戸蓋	ナイロンコーティング 80A用 下部井戸フランジ14K型	個	1.0	
スルース弁	ナイロンコーティング 鋳鉄製 80A	個	1.0	
圧力計	1.0MPa用	個	1.0	
フランジ付曲管	ナイロンコーティング 80A 15A・10Aソケット付	個	1.0	
プラグ	白 15A	個	1.0	
可とう継手	80A×350L 合成ゴム製 高圧・埋設用	個	1.0	
EFフランジ短管	PWA規格 φ75 JIS10K F型	個	3.0	
直管	水道用耐震型高性能ポリエチレン管 PWA規格 φ75 L=0.5m	本	1.0	
(配管工)				
継手工	融着継手 呼び径75mm 1口継手	箇所	3.0	
(据付工)				
注入設備据付工	注入管・配管材料 80A	組	1.0	

【注記】

・注入管長の選定にあたっては、揚水試験結果に応じて検討すること。  
周辺の既設井戸データから計算した注入管長は以下の通り。  
注入管長=自然水位 (P.L) + 揚水期の水位低下 (見込値) + 2m  
=2.0+20.0 (見込値) + 2.0  
=24.0[m] → 揚水管長は2.75[m/本]×9[本]=24.75[m]とする。

【注記】

・ケーシングプログラム (ストレーナ位置および延長) は、さく井施工時の掘さく状況や地層構成および地下水垂直検層の結果を考慮して、再度検討を行うものとする。  
・掘さく方法は、ロータリー式掘さくとする。

ケーシング材料表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
ケーシングパイプ	FRPφ250 6.0m/本	m	76.0	ビット据付時、上部切断撤去 100.0[m]－24.0[m]=76.0[m]
ストレーナパイプ	FRPφ250 縦スリット型 4.0m/本	m	24.0	4.0[m/本]×6[本]=24.0[m]
ボトムプラグ	FRPφ250用	個	1.0	

【注記】

・地層構成に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」にて調査対象とした既設井戸の柱状図がないため、近隣に位置する一般県道八日町仙石線歩道融雪施設の既設1号注入井の仕様を、参考値として記載する。  
・ケーシングパイプおよびストレーナパイプの数量に関しては、「長清水公園地下水観測調査業務」に記載のある既設井戸のケーシングプログラムを参考にした。

想定地層構成

名 称	数 量
粘性土	5.7
砂質土	0.0
礫質土	42.4
玉石混土	51.9
岩	0.0
合計	100.0

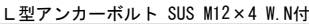
令和	年度	図番	18 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
注入設備工図 南側工区			
縮尺	1:20	上山市	

## 揚水井・注入井共通

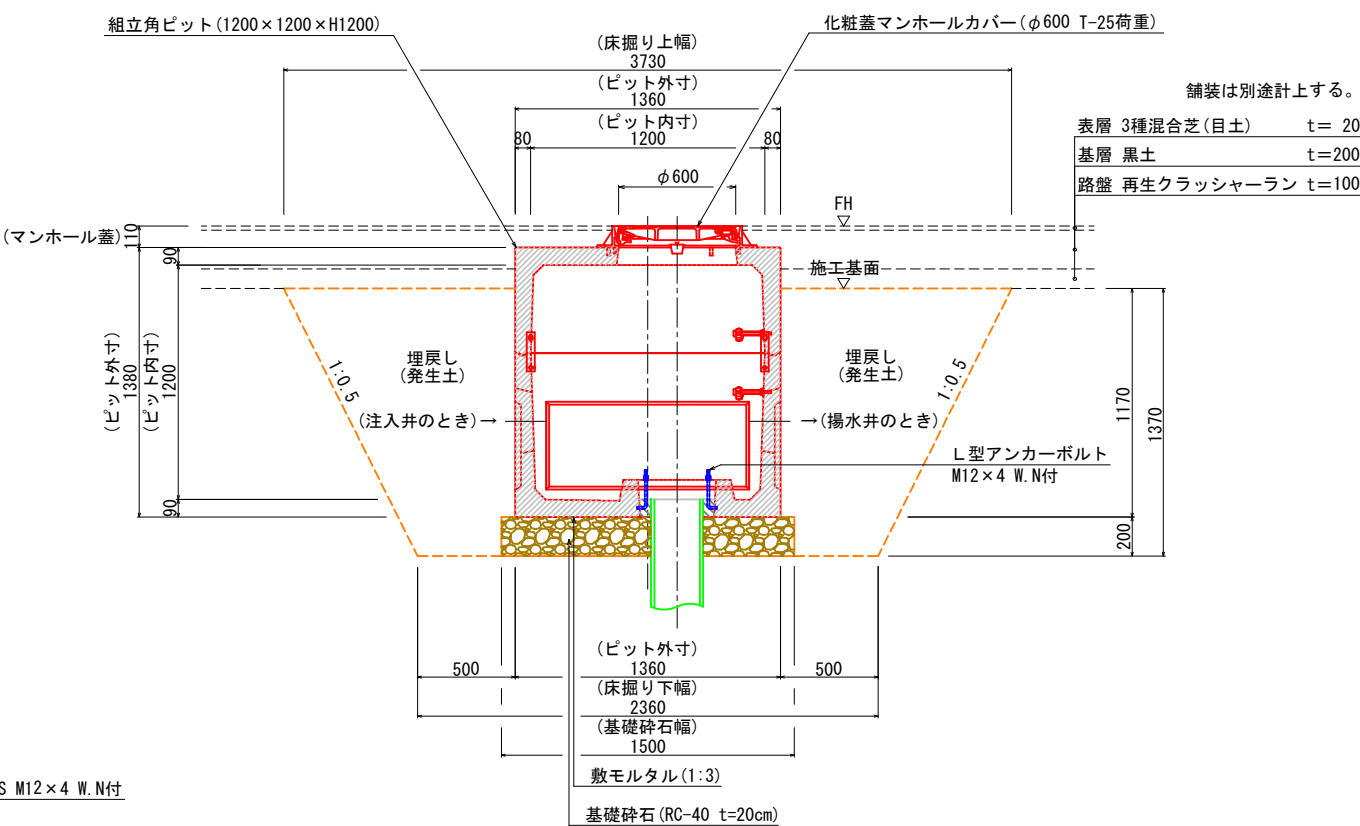
S=1:20

(北側工区および南側工区)2[工区]×(揚水井および注入井)2[箇所/工区]=4[箇所]

平面图

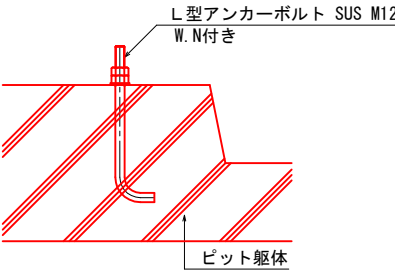


A - A' 断面図



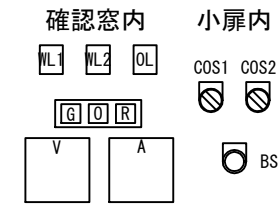
## アンカーボルト詳細図

A1 :  $S=1/5$   
A3 :  $S=1/10$



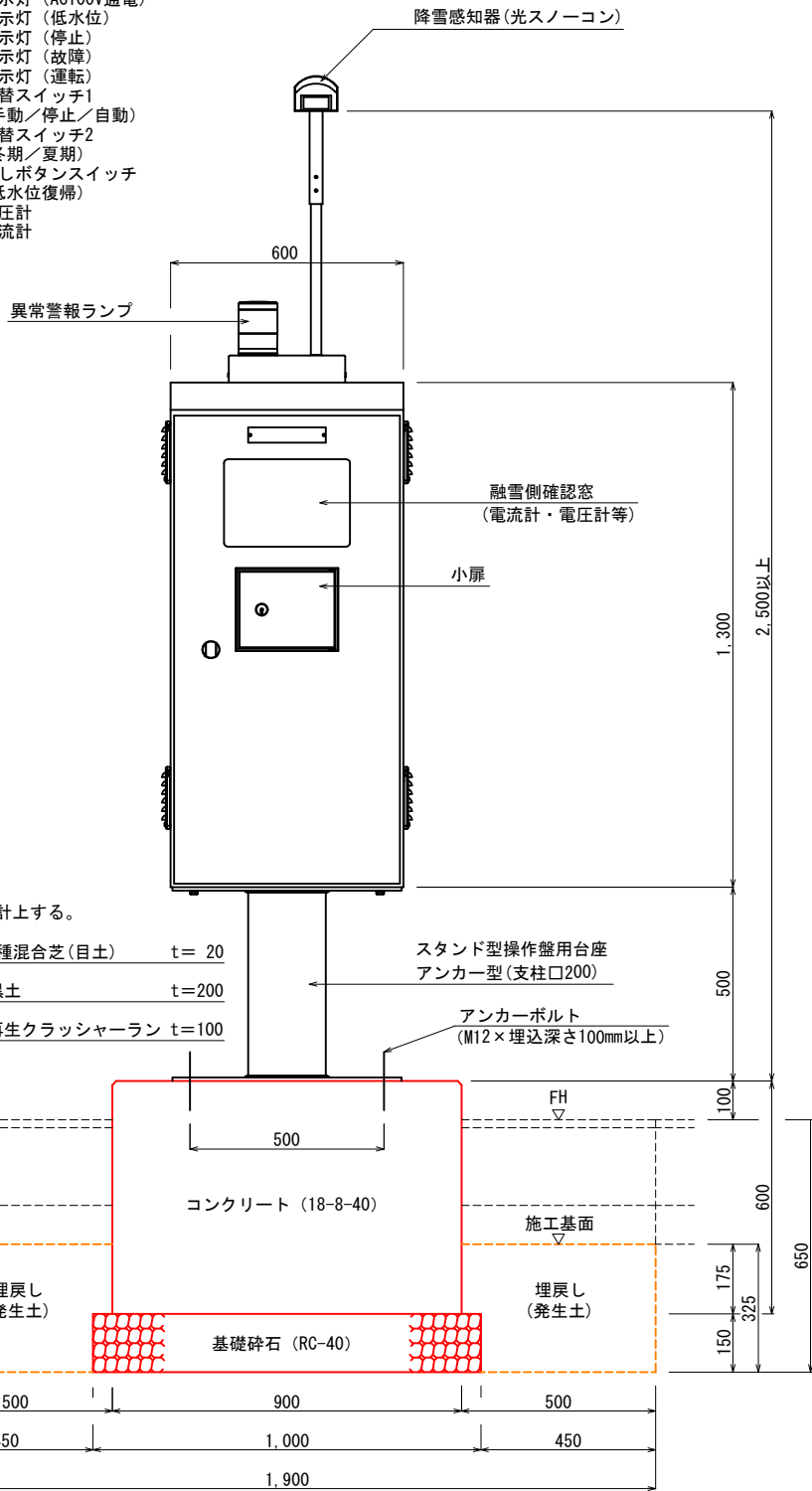
令和	年度	図番	19 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
井戸ビット土工図 揚水井・注入井共通			
縮尺	1:20	上山市	

盤面表示・スイッチ類（案）



WL1 : 表示灯 (AC200V通電)  
WL2 : 表示灯 (AC100V通電)  
OL : 表示灯 (低水位)  
G : 表示灯 (停止)  
O : 表示灯 (故障)  
R : 表示灯 (運転)  
COS1: 切替スイッチ1  
(手動/停止/自動)  
COS2: 切替スイッチ2  
(冬期/夏期)  
BS : 押しボタンスイッチ  
(低水位復帰)  
V : 電圧計  
A : 電流計

正面図



【注記】  
舗装は別途計上する。

【注記】

- ・アンカーボルトは、M12×埋込深さ100mm以上を使用すること。
- ・手動運転時にも、水位電極制御によるポンプの発停が可能な仕様とすること。

融雪用操作盤工図

(北側工区 屋外スタンド型 15kW 水景施設連動 1年目工事)

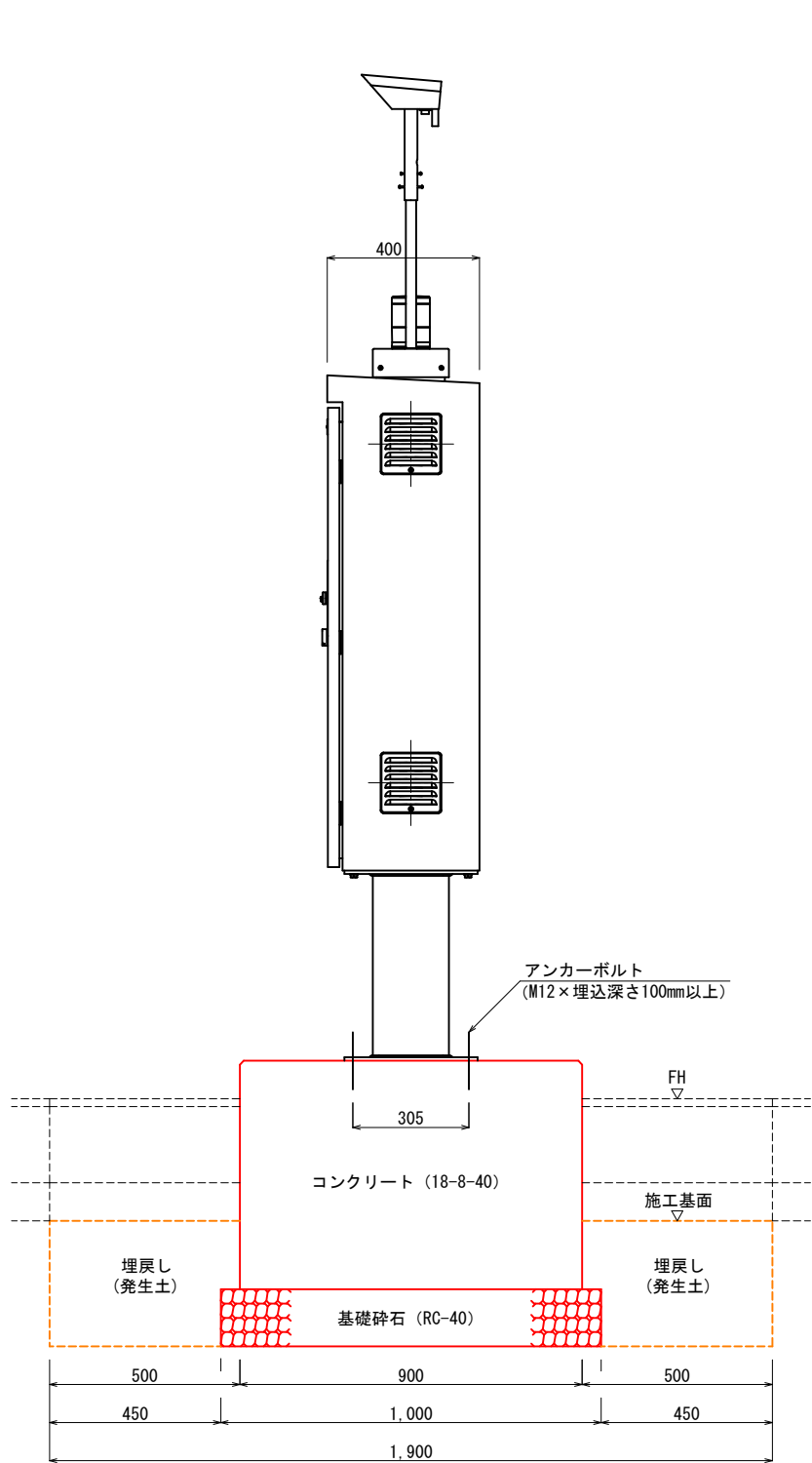
【注記】

1年目工事においては、北側工区融雪用操作盤の基礎部分のみ施工し、操作盤本体の据付は行わない。

外形図

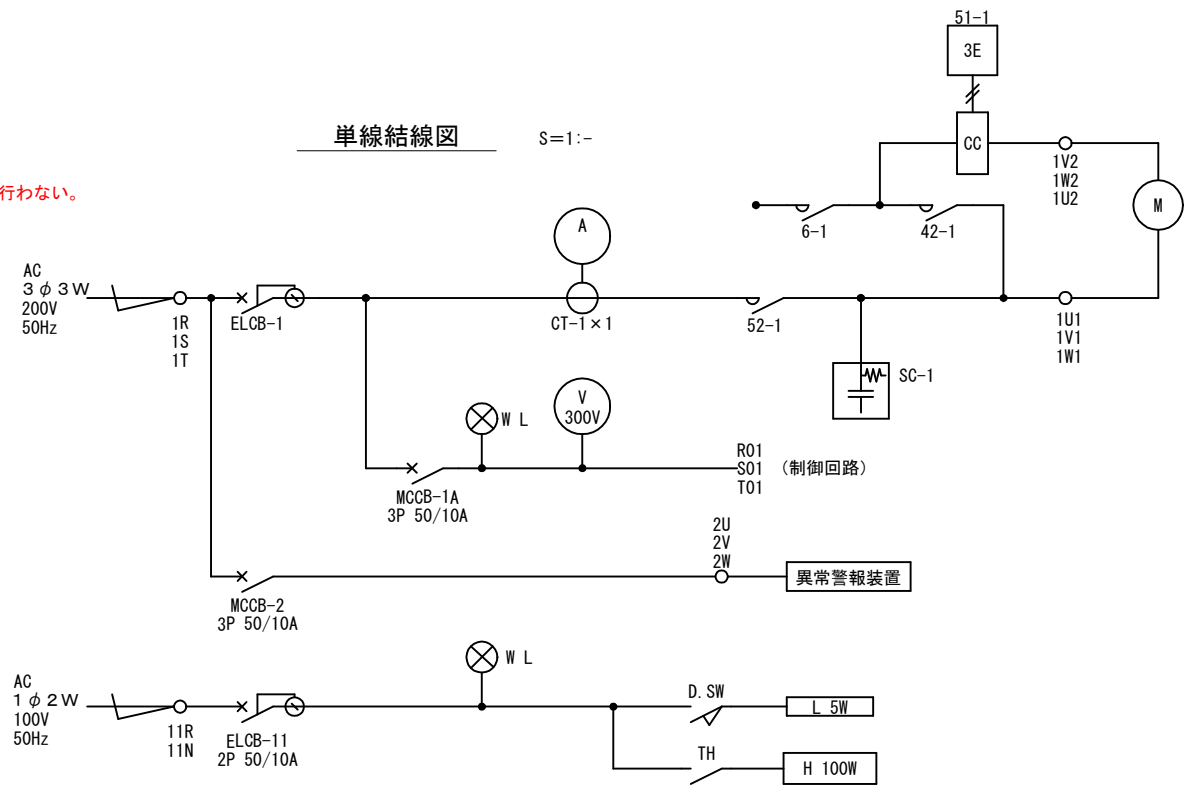
S=1:10

側面図



単線結線図

S=1:-

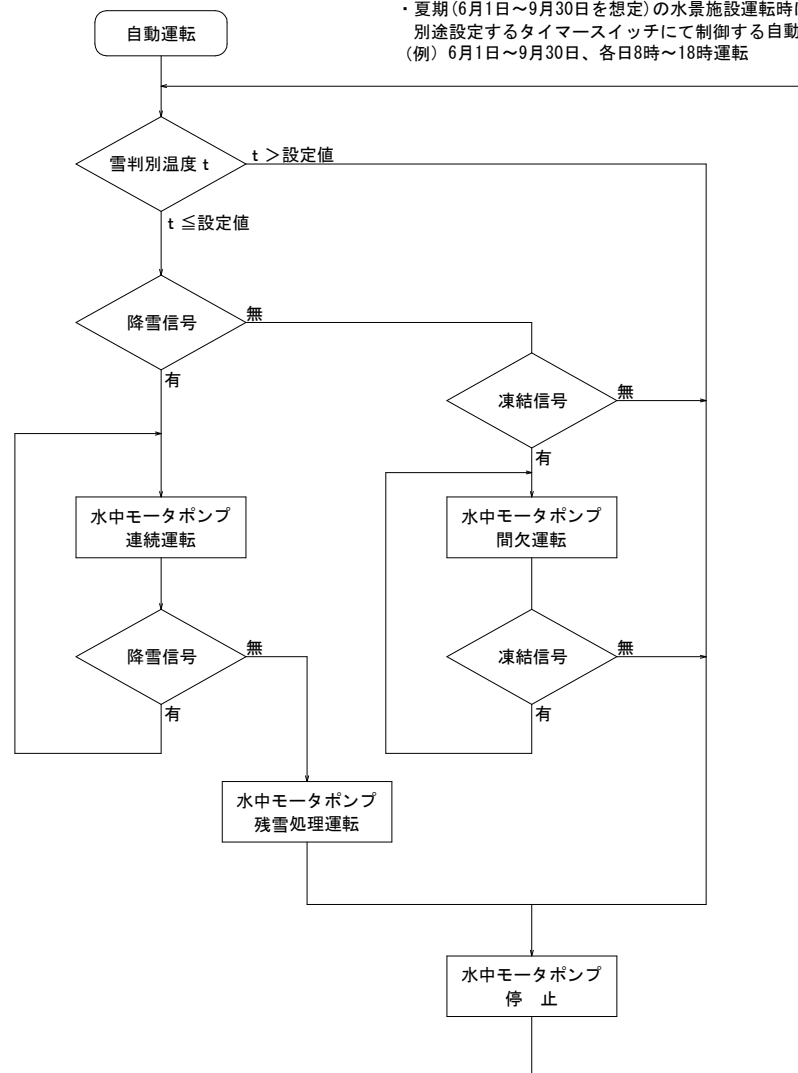


冬期融雪運転時 制御フロー図

12月1日～3月31日を想定 S=1:-

【注記】

- ・夏期 (6月1日～9月30日を想定) の水景施設運転時に地下水の供給が必要な際は、別途設定するタイマースイッチにて制御する自動運転によりポンプを稼働させる。  
(例) 6月1日～9月30日、各日8時～18時運転



令和	年度	図番	22 葉 28
路線名又は 河川名			
工事名			
位置	上山市矢来地内		
融雪用操作盤工図 北側工区 屋外スタンド型 15kW 水景施設連動			
縮尺	1:10	上山市	